

会報

No. 103

令和2(2020)年10月15日

https://www.library.pref.kyoto.jp/?page_id=28

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町

京都府立図書館内

TEL (075) 762-4655

<目次>

1面

・貸出を含めた地域との連携について(八幡市立図書館)

2面/3面

・コロナウイルス感染症流行期の各公共図書館の取組について(伏見中央図書館/城陽市立図書館/京田辺市立中央図書館/福知山市立図書館/京都学・歴史館)

4面

(府立図書館)

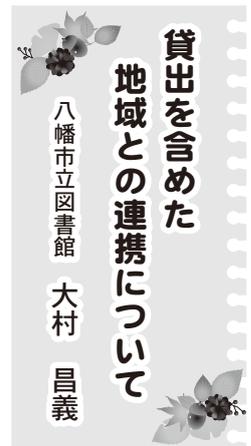
・京都府図書館等連絡協議会事業
・研修予定

公共図書館は、市民が自ら考え判断して生きていく上で、必要な情報を提供する社会機能として存在しています。八幡市立図書館もまた、市民の本棚として、赤ちゃんからお年寄りまで市民に気軽に利用してもらえよう、また頼りにしてもらえよう、その運営に努めています。

しかし、近年利用者の高齢化が進み、自ら図書館へ来館することが困難となり、本を手にする機会を失っている利用者が増加しています。当館では自動車文庫(移動図書館)を巡回しており、普段は図書館に行けない市民に対するサービスとして一定の成果を上げていますが、この場合においても自動車文庫の停留地まで出向くことができない方もいらっしゃいます。

図書館内において図書館利用者を持つだけではなく、市内に在住しながらも図書館サービスを利用できない市民に対しても図書館を利用してもらいたい。その思いと公共図書館の社会的役割を考え、アウトリーチ型サービスの実施を模索しました。

そして、市内の老人福祉施設へ直接本を届ける団体貸出サービスを令和元年九



月より新たに開始することとなりました。本を直接届けることにより、読書を諦めていた利用者にもう一度「本と再会」をしてもらい、楽しみを増やしていただきたいと考え、様々なニーズに応えることができるよう、朗読CDや大活字本、写真集等の資料を準備しました。貸出冊数の上限は五十冊、期間は一か月です。

各福祉施設に対しては団体貸出サービスの利用方法を記入した小冊子を事前に郵送しました。そして要望があった施設へ直接訪問し、どのようなサービスができるのかを説明いたしました。出向いたすべての施設から団体貸出の利用希望があった訳ではありませんが、図書館で行っているサービスを日頃図書館内では出会うことのない人々に対しアピールできたことは収穫でした。図書館の業務内容については、一般的には認知されていないことが多いので、このような機会を通して図書館の役割・機能について広く市民に対して宣伝する足掛かりになることを期待しています。

令和二年八月現在、福祉施設での団体貸出利用は三箇所です。各施設の希望される貸出冊数は十冊程度から上限の五十冊までと様々です。団体貸出の利用前には、少ない冊数で利用してはいけないと考えていた施設もありましたが、面前で利用方法を説明し疑問点等をお聞きすることで不安を取り除くことができたのではないかと考えます。また、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、事前の



図書館職員の検温・施設前での消毒等を行い、施設側の希望があれば施設入口での引き渡しのみとし、接触時間をできるだけ短くするよう努めております。

貸出する資料の種類・冊数は、事前施設の方から要望を聞き取り、準備しています。要望としては「風景や動物の写真集」「囲碁・将棋の本」「雑誌」「園芸」「大活字本」「馴染みのある」音楽CD」「レクリエーションで利用できる遊び」「昔の風景・人物写真」等をよく聞きます。なかでも、最初の訪問時に昭和に活躍した女優の写真集の反響が大きかったことを記憶しています。

福祉施設の職員の方からは、図書館が用意した資料をきっかけに入居者同士で話が弾むことがあったという報告を受けています。今後も図書館の資料を通して地域の人々の交流が育まれるよう、努めていきたいと思っています。

コロナ禍に本と人とを 結ぶ新たな試み

京都市伏見中央図書館

司書 西垣 晶子
司書 中名 久恵

京都府の緊急事態措置を受け、京都市図書館も臨時休館を余儀なくされました。休館中、返却ポストに返却された本が館内に溢れかえり、これまで見たことのない光景でした。開館の見通しが立った頃、書架に入らない本をどうするかというところ、利用者の滞在時間を短くし、素早く本を借りていただくための仕組みづくりが課題となりました。

その二つの課題を解決するため、「本の縁結び」セットの貸出し（六月）と人気雑誌のバックナンバー展示（七月）を企画しました。

「本の縁結び」セットの貸出し
この企画は、図書館でよく取り組まれている「本の福袋」をアレンジし、一般書、絵本のジャンルごとに、それぞれ選んだ三冊の本にテーマを書いた帯を巻き、輪ゴムで留めるだけという簡単な装丁にすることで、準備の負担を軽くし、数をたくさん用意できるよう工夫しました。

マビエをあしらい、新型コロナウイルスの終息への願いを込めました。

この「本が見える」形のセット方法は、「借りやすい」と大変好評で、期間中、何度もこのセットを追加することとなりました。

この企画は、来館者の多い夏休み期間中にも実施しましたが、利用者の方にも職員にも、便利で楽しい企画だと思えます。（西垣）



人気雑誌のバックナンバー展示

「ほらほら『暮しの手帖』で手作りソーセージの特集が載っていた号があったでしょ？去年だったかな？何号かはわからないけど、あれば見たいのよ」

図書館のカウンターにいますと、このような所蔵調査依頼がしばしばあります。雑誌名や号数などが明確であれば、スムーズにご案内できますが、特集や記事内容だけお調べをすると、少々お時間をいただくことになってしまいます。

そこで、お目当ての資料の検索と書庫出納の時間を少しでも省略出来るよう、「人気雑誌のバックナンバー」の表紙を見せて並べる」展示を企画しました。号数

によって、は季節はずれの内容があり、「すべて借りていただくことは無理かもしれない」と心配していましたが、第一弾は三日ほどですべてなくなりました。

大好評につき、引き続き月二タイトルペースでこの企画を実施しています。（中名）

ここでは、紙面の関係で二つの企画をご紹介しますが、ウィズコロナの時代の図書館サービスとしてお薦めです。

短い滞在時間でも楽しく本を選んでいただけるよう、これからも利用者の方の反応やご意見を伺いながら工夫していきたいと思えます。



城陽市立図書館では

おはなし会を

再開しています

城陽市立図書館 山口 敏子

当館は、三月六日より休館しましたが、休館中には予約資料貸し出しのための臨時窓口を開設、そして、六月から制

限を設けながら、再開しました。

事業は、七月の幼児向けを皮切りに、赤ちゃん向け、AETによる英語のおはなし会を実施しました。マスク着用では声がかもり、子どもにおはなしを楽しんでももらえないというボランティアの意見から、A3ラミネートフィルムを使い、首まである長いフェイスシールドを手作りしました。また、利用者同士で密にならないようにマットを敷き一家庭毎に座ってもらう、換気のため室外に向けて扇風機を設置するなど、できる範囲での感染予防対策を行い、参加者は先着五組までとして実施しました。実施前には、参加者カードに氏名・連絡先を記入してもらい、体温測定、手指の消毒を必須としました。おはなしの内容は、幼児はマスクを着けない場合が多いので、参加型や大きな声を出さないうつものなどを選んでいきますが、久しぶりのおはなし会で、盛り上がりつつも、やりにくさを感じています。

感染防止対策のために人手がかかり、五組しか参加してもらえませんが、考えすぎて、事業はできません。少し怖がりながら職員で対策を日々検討しながら、今後もおはなし会や、文化講演会を開催していく予定です。



休館中の取組について

京田辺市立中央図書館 森島 祥子

京田辺市立中央図書館は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、三月三日から臨時休館となりました。三月二十五日から制限をかけて開館しましたが、四月四日再び閉館となりました。

いつ開館できるかわからない状況の中、今できることとして、開館後、利用者の方に安心して図書館の資料を利用していただけるよう、全館で資料を一冊一冊重曹水で拭き、その後乾拭きを行いました。古くなり、汚れが目立つ本もありましたが、きれいに拭き上げることで、安心して借りていただける状態になったのではないかと思います。

また、休館が長引く中、五月十二日より予約資料の郵送貸出しを行うとともに、十六日からは、各館の玄関前にて、ウェブでの予約が難しい方や所蔵していない資料の手書きによるリクエストカードの受付を行いました。記入いただいた用紙は専用の封筒に入れ、



ブックポストに投函していただけるようにし、約二五〇人の方から約一一五〇冊のリクエストの申し込みをいただきました。

直接サービスができないもどかしさを感じましたが、開館後、長く休館していたにもかかわらず利用者の方々は「ありがとう、助かりました。」という言葉をたくさんかけていただきました。今後も試行錯誤が続くと思いますが、できる限りのサービスを行っていきたいと思います。

休館中の取組について

福知山市立図書館 中嶋 善彦

福知山市立図書館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、三月十日から臨時休館することになりました。突然のことで我々職員も、不安な中、学校も休校になり、外で遊ぶこともできない子どもたちになんとか本を届けたい！と考えたのが、市内の小学校、放課後児童クラブ、児童館に対しての緊急の図書館資料セット貸出でした。チラシ作成や本のセットに職員総出で取り掛かり、案内を出してすぐに多くの施設から申し込みがありました。

トとしました。また、今回は配達も図書館職員が行いました。子どもたちがうれしそうに本を受け取ってくれたときは感無量でした。施設の方からも「突然の休校で対応に追われており、とても助かったです。」とたくさん感謝の声をいただきました。

現在は、「暮らしに読書を、おうえん事業」として、子どもたちだけでなく高齢者施設や公民館など、広い範囲で活用いただける図書館資料セット貸出の準備をしています。こんな時だからこそ、本との出会いを楽しんで、たくさんエネルギーを充電してほしいと願っています。



京都府公報の目次、公開しました！

京都府立京都学・歴史館 大久保秋実

歴史館では、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、多くの職員がはじめての在宅勤務をすることになりました。これまで経験したことのない事態に驚きと不安のなか、作成したのが「京都府公報

目次」のデータベースです。

公報の目次は、これまで昭和戦前期の二十年間分をウェブサイト「京の記憶アーカイブ」上で公開していました。残りの年代も「いつかは公開したい！」と準備はしていたものの、日々の業務のなかでデータ入力の手間はとれず、「いつか」は訪れないままでした。そして今回、在宅業務の一つとして「公報の目次入力」に取り組むことにしました。

これによって、明治三十七年から大正十五年までの目次情報を追加し、戦前までの約四十年間の「京都府公報」の目次が検索できるようになりました。

簡易検索画面ではフリーワードから、詳細検索画面では「府令」や「告示」などの種類、公報が発行された年月日、「保安林編入」や「町村合併」といった件名などから検索可能です。

歴史館ならではの京都関係資料の特色をいかした、利用者の方どこからでもほしい資料を探し出せるデータベースは、今まで以上に、皆さんの研究に役立ててもらえることと思います。

公開後さっそく、データベースを見た方から複写依頼のご連絡がありました。

今後は「京都府公報目次」の他にも「京都雑誌記事論文等」の目次情報も充実していく予定です。左のQRコードからアクセスしてみてください。



新型コロナウイルス 感染症に関する取組

京都府立図書館 野田 陽子

【休館の状況】

京都府においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、安倍前首相が全国全ての学校に臨時休校を要請したのを受け、三月三日から全ての府立学校を臨時休校しました。京都府立図書館においても、二月二十四日から三月五日まで蔵書点検の特別整理期間の休館に引き続き、三月二十三日まで臨時休館しました。

感染者数が一定落ち着いたため、三月二十四日から閲覧席を約五十％に削減し、換気等の感染予防を行った上で開館しましたが、新規感染者の増加に伴い、四月四日から五月二十一日まで再度臨時休館しました。

ここでは、新型コロナウイルス感染症に関連して実施した「こどもの居場所づくり事業」「府立図書館図書無料お届けサービス」について紹介します。

【こどもの居場所づくり事業】

安倍前首相の要請による急遽の臨時休校は、子どもの居場所をどのように確保するかが一つの大きな課題となっていました。府立図書館では、多くの子どもが楽しむことができる図書があること、京都大学生のサポートを得ることができたことなどから、「こどもの居場所づくり

事業」を三月二十四日から四月三日までの間で六日開催しました。

図書館三階の研修室を子どもの居場所として、「学習の時間」・「読書の時間」・「科学体験の時間」・「宇宙体験の時間」のプログラムで午前九時三十分から午後四時まで実施しました。

定員は、密集を避けるため各日十五名とし、参加児童と大学生スタッフにはマスクの着用・検温・手指の消毒をお願いし、会場は換気を行うなど感染予防に十分注意しました。延べ一五三名の子どもの事前申込みがありましたが、感染への不安からか、延べ五十九名の参加で終了しました。

急遽、プログラムにない「館内見学会」や「大学生によるクイズ合戦」も取り入れるなど、参加した児童からは「楽しかった!」「また参加したい!」「これからも図書館を利用したい」との感想がありました。

【府立図書館図書無料お届けサービス】

ゴールデンウィークを前に、京都府知事が「ゴールデンウィーク期間中の不要不急の外出の自粛」を要請したことから、自宅での読書を楽しんでいただけるよう、期間限定で府立図書館の図書を無料でお届けするサービスを実施しました。

対象者は、府立図書館の利用者カードの保有の有無を問わず、府内在住であること、限られた日数で間違いなくお届けするためWeb限定での申込み、一人一回五冊まで、先着五〇〇名限定として、四月二十四日から受け付けました。

当日の朝刊に掲載されたため、昼前には三〇〇名を越える申込みがあり、急遽定員を六〇〇名まで増やしましたが、午後二時四十分には六〇〇名に達し、受付を終了しました。

翌日から職員総出で、集本・梱包・発送作業を行い、重複の申込者等を除いて五五六名に二二三冊の図書をゴールデンウィークの始まる四月二十九日までで発送を終えることができました。利用者からは「楽しみにしていた本がもう届きました」「ありがとうございます」などのご意見をいただきました。

【開館後の状況】

五月二十二日から一階及び地下の閲覧席と二階の閲覧室を閉鎖の上、開館時間を短縮した中で、主に図書の貸出と返却のみのサービスで図書館を開館しました。

マスクの着用、換気の実施、館内放送による注意喚起等も実施しながら、府内の新規感染者の状況を確認の上、六月十二日から一階及び地下の閲覧席は約五〇％、二階閲覧室はコンピュータの端末機を約五〇％利用できるようにしました。

閲覧席にパーティションを設置するなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、サービスの充実に向けて取り組んでいます。

Ⅱ 会報はホームページに掲載Ⅱ

京都府図書館等連絡協議会のホームページに過去の会報も掲載しています。御利用ください。

令和二年度

京都府図書館等連絡協議会事業

- 四月八日(水) 第一回理事会(府立図書館)
- 七月三日(金) 定期総会
- 七月三十日(木) 第一回広報委員会
- 八月二十日(木) 第一回研修研究委員会
- 十月(未定) 第一回相互協力委員会
- 七月二十九日(水) 第一回京都図書館大会実行委員会

令和二年度京図連協研修予定

- 北部 十二月四日(金) テーマ「これからの図書館の在り方」
↳課題解決型サービスについて↳
場所 宮津市福祉・教育総合プラザ
講師 常世田 良氏(立命館大学教授)
- 中部 十一月〜十二月 テーマ「新型コロナウイルス感染症対策中のイベント運営」又は「ビジネス支援」
場所 立誠ガーデンヒューリック京都
又は府立図書館
講師 未定
- 南部 令和三年一〜三月 テーマ「障害者サービス」又は「著作権」
場所 京都ライトハウス等
講師 未定
- 第二十九回京都図書館大会
テーマ「災害と図書館(予定)」
日程 十一月三十日(月)
場所 府立図書館からオンライン配信